

第19回

# パラミタ 陶芸大賞展

アイザワリエ  
Aizawa Rie  
〈茨城県〉



展示期間 2025年5月31日[土]～7月21日[月・祝]

※会期中無休

投票期間 2025年5月31日[土]～7月3日[木]

※大賞作家にご投票いただいた方には、パラミタミュージアムより記念品をさしあげます

パラミタ陶芸大賞発表式 | 2025年7月13日[日]

◎パラミタ陶芸大賞/1名 賞金100万円

開館時間 | 9:30～17:30 (入館は17:00まで)

会場 | パラミタミュージアム2階 第4室

入館料 | 一般1,000円(4枚セット券3,000円) / 大学生800円 / 高校生500円 / 中学生以下無料

主催 | 公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム

後援 | 中日新聞社、朝日新聞社、読売新聞社、三重テレビ放送

山浦陽介  
Yamaura Yosuke  
〈岐阜県〉



撮影: Shugo Hayashi



撮影: 林達雄

小林佐和子  
Kobayashi Sawako  
〈神奈川県〉



撮影: 木和田理子



撮影: 木和田理子

撮影: 野村知也



奈良祐希  
Nara Yuki  
〈石川県〉



後藤秀樹  
Goto Hideki  
〈岐阜県〉

撮影: 野村知也

今井完眞  
Imai Sadamasa  
〈京都府〉



撮影: 堀出信子



撮影: 森下大憲

恒例となったパラミタ陶芸大賞展も、本年19回目を迎え、来館者による投票という大賞選考方法もすっかり定着しました。今回も、全国の美術館、博物館、画廊、美術評論家の方々から、「時代を代表する陶芸家」を推薦いただき、上位6名の作家をノミネートして、パラミタミュージアムの会場に作品を展示します。

賞の選考は5月31日から34日間の展示期間中、来館者に投票していただき、その結果により大賞を決定します。多数の皆様のご投票をお待ちしております。

※掲載画像は陶芸大賞展の出品作品とは異なる場合があります



# 第19回 Ceramic Art Grand Prize Exhibition パラミタ陶芸大賞展

## アイザワリエ / Aizawa Rie

- 1994年 沼津市(静岡県)に生まれる
- 2017年 大阪芸術大学工芸学科陶芸コース卒業  
第51回女流陶芸展 新人賞
- 2018年 茨城県立笠間陶芸大学校研究科卒業
- 2019年 第25回日本陶芸展 文部科学大臣賞  
個展(ギャラリー数寄/愛知)(同'22)
- 2021年 第8回陶美展 共栄電気炉製作所賞
- 2023年 「やきものの現在 土から成るかたち—partXIX」(ギャラリーヴォイス/岐阜)  
「美の予感2023—生彩—」(日本橋高島屋/東京、他)  
個展(シルバージュエル/東京)(同'24)
- 2024年 「Reframing, vol.2」(YODギャラリー/大阪)  
第13回国際陶磁器展美濃 銅賞
- 現在 茨城県笠間市在住



## 今井完眞 / Imai Sadamasa

- 1989年 京都市(京都府)に生まれる
- 2011年 京都花鳥館賞奨学金2011 最優秀賞
- 2012年 京都商工会議所インターンシップ交流事業京都代表として派遣
- 2013年 東京藝術大学工芸科卒業
- 2015年 第63回東京藝術大学卒業・修了作品展 三菱地所賞(東京藝術大学大学院美術研究科陶芸専攻修了)
- 2016年 「第6回中、日、韓有名芸術家招待展」(上海芸術礼品博物館/中国)
- 2017年 「三越美術110周年 HOPES 次世代百選展」(日本橋三越本店/東京)
- 2018年 「ゾクッとするリアリズム ゴムシVSシーラカンス」(茨城県陶芸美術館)
- 2019年 日本陶芸展 招待作家 出品
- 2021年 Kyoto Art for Tomorrow 2021 —京都府新鋭選抜展— NHK京都放送局賞(京都文化博物館)
- 2023年 「ポケモン×工芸展—美とわざの大発見—」(国立工芸館/他、巡回)
- 現在 京都府京都市在住



撮影：堀出恒夫

## 後藤秀樹 / Goto Hideki

- 1973年 多賀城市(宮城県)に生まれる
- 1997年 岐阜県立多治見工業高等学校専攻科卒業
- 2012年 第19回美濃陶芸庄六賞茶碗展 奨励賞
- 2014年 第10回国際陶磁器展美濃 入選(同'21)
- 2015年 個展(ロバート・イエリオンやきものギャラリー/京都)
- 2016年 「現代志野の新動向 いましの展」(多治見市美濃焼ミュージアム/岐阜)
- 2017年 「現代の茶陶」(茨城県陶芸美術館)  
「志野・しの・SHINO展」(ギャラリーヴォイス/岐阜)
- 2019年 個展「床の間を離れて。」(美濃加茂市民ミュージアム/岐阜)
- 2023年 個展「海神」(日本橋三越本店/東京)
- 2024年 個展「後藤秀樹陶展」(ギャラリー数寄/愛知)  
個展「海神」(ざらりい栗本/新潟)  
個展「後藤秀樹陶展」(ジェイアール名古屋タカシマヤ/愛知)  
とうしん美濃陶芸作品永年保存事業選定(とうしん美濃陶芸美術館/岐阜)
- 現在 岐阜県多治見市在住



撮影：野村知也

## 小林佐和子 / Kobayashi Sawako

- 1984年 藤沢市(神奈川県)に生まれる
- 2003年 神奈川県立湘南高等学校卒業
- 2009年 東京藝術大学美術学部工芸科陶芸専攻卒業
- 2011年 東京藝術大学大学院美術研究科陶芸専攻修了
- 2013年 個展(瑞玉ギャラリー/東京)(同'16 '19)
- 2014年 東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了  
茅ヶ崎市にアトリエを作る  
個展(日本橋三越本店/東京)(同'17 '20 '23)
- 2015年 個展(銀座黒田陶苑/東京)(同'18 '21 '24)
- 2018年 ART FAIR TOKYO 銀座黒田陶苑ブースより出品(同'21 '24)  
個展(Paragon Japan International Art Gallery/神奈川)
- 現在 神奈川県茅ヶ崎市在住



撮影：木和田権了

## 奈良祐希 / Nara Yuki

- 1989年 石川県に生まれる
- 2013年 東京藝術大学美術学部建築科卒業
- 2016年 多治見市陶磁器意匠研究所修了
- 2017年 東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻首席卒業  
第3回金沢世界工芸トリエンナーレ 審査員特別賞
- 2020年 個展「Hybridizing」(Akio Nagasawa Gallery/東京)
- 2021年 一級建築士事務所EARTHEN設立  
個展「JAPANDI-NA」(Nicolai Bergmann Flowers & Design Flagship Store/東京)
- 2022年 「コレクション展1 うつわ」(金沢21世紀美術館/石川)  
個展「ENSEMBLE」(佳水園/京都)  
個展「Exposition Nara Yuki」(OGATA Paris/フランス)
- 2023年 個展「samādhi」(禅坊 靖寧/兵庫県淡路島)
- 2024年 個展「折器」(麻布台ヒルズギャラリー/東京)  
第13回国際陶磁器展美濃 審査員特別賞
- 現在 石川県金沢市在住



## 山浦陽介 / Yamaura Yosuke

- 1982年 南越前市(福井県)に生まれる
- 2008年 静岡文化芸術大学デザイン学部生産造形学科卒業
- 2010年 多治見市陶磁器意匠研究所卒業
- 2011年 第9回国際陶磁器展美濃 入選(同'17)
- 2019年 第4回金沢・世界工芸コンペティション 入選
- 2020年 個展「一空白と超刻一」(ギャラリー数寄/愛知)  
online Gallery B-OWND参加('23 B-OWND Gallery参加)
- 2021年 第12回国際陶磁器展美濃 坂崎重雄セラミックス賞
- 2022年 「ホモ・ファーベルの断片 一人とものづくりの未来一」(愛知県陶磁美術館)
- 2023年 個展「一つんざくかたち一」(ギャラリー数寄/愛知)  
Blanc de China International Ceramic Art Award 入選(Winland center/中国)
- 2024年 「『土・メッセージ MINO』IN 東京'24:伝承される陶芸の最先端」(東急プラザ表参道/東京)  
「やきもの最前線 国際陶磁器展美濃受賞者の現在」(ギャラリーヴォイス/岐阜)
- 現在 岐阜県土岐市在住



### 同時開催

## 加藤子華 書の世界 一書のみを求めて一

日展会員の書家、加藤子華の作品展を開催します。加藤子華は1938年三重県四日市市に生まれ、父で書家の加藤光城から楷書・行書・草書・仮名の各体を選び、木村知石、甫田鶏川に師事し研鑽を積みました。1956年日展に初入選し、その後も幾度の入選・特選を得たのち審査員の重責を果たしています。今回は線の美しさが際立つ加藤子華の書のみをご覧ください。

### 次回展覧会予告

## ひろしま美術館コレクション フランス印象派から日本の近代洋画まで 2025年7月26日(土)～9月28日(日)

ひろしま美術館は、日本で現在も高い人気を誇る印象派を中心に、19世紀はじめのロマン主義から20世紀前半のエコール・ド・パリに至るフランス近代美術と、さらに、それらに影響を受けた日本の近代美術を収集し、国内有数のコレクションを築いています。今回は、その貴重な作品群から、クールベ、モネ、ルノワール、ピカソなどフランス近代美術の各流派を代表する巨匠たちの作品、および同時代のフランス絵画に影響を受け、日本近代洋画の礎を築いた黒田清輝や、パリを拠点に活動した佐伯祐三などの日本人美術家の作品、あわせて約70点を一堂に展覧いたします。